

平成 24 年 11 月 20 日

危機管理部危機政策課

南海トラフ巨大地震による津波高(10mメッシュ)、人的・物的被害等

1 概要

国(内閣府)が平成24年8月29日15時に発表した南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び人的・物的被害想定について、本県の概要は次のとおりです。

2 震度分布

本県の富士川河口断層帯の北端付近から九州の日向灘南西方向までを想定しうる最大の震源域とし、様々なパターンで計算を行い、250mメッシュ単位で震度を推計。それぞれのケースごとに各市町(政令市は区)の中で最大となる震度が示された(3月31日と同様です)。

最大震度	数	市(区)町名
7	23	静岡市葵区、駿河区、清水区、浜松市中区、東区、西区、南区、北区、浜北区、天竜区、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、森町
6強	18	沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、川根本町
6弱	2	東伊豆町、河津町

※ 長周期地震動の長大構造物に対する影響などは、引き続き検討され、結果がまとまり次第、発表される予定

3 津波高(10mメッシュ単位)

地震を引き起こす震源断層面の中で大きくすべる領域をどこに設けるかにより設定された11のケース毎の10mメッシュ単位で計算された津波高が示された。

各市町(政令市は区)の津波高は、下表のとおりである。(単位:m)

市(区)町名	南海トラフの巨大地震			(参考) 静岡県第3次地震 被害想定 の津波高
	3月31日発表 (50mメッシュ) 最大値	8月29日発表予定 (10mメッシュ)		
		最大値	平均値	
熱海市	5.4	5	4	3.1 ~ 3.0
伊東市	7.5	10	5	3.7 ~ 3.0
東伊豆町	11.8	14	8	4.0 ~ 3.0
河津町	11.7	13	10	4.5 ~ 3.0
下田市	25.3	33	15	5.6 ~ 2.7
南伊豆町	25.3	26	15	5.4 ~ 2.5
松崎町	20.7	16	12	6.0 ~ 3.1
西伊豆町	13.8	15	9	6.7 ~ 3.2
伊豆市	11.1	11	8	6.2 ~ 2.9
沼津市	13.2	10	7	10.4 ~ 2.4
富士市	6.2	6	6	3.6 ~ 2.6
静岡市清水区	10.9	11	6	5.0 ~ 1.5

静岡市駿河区	10.9	13	8	7.4 ~ 2.4
焼津市	10.1	11	6	5.0 ~ 2.0
吉田町	8.7	9	8	4.0 ~ 2.4
牧之原市	12.3	14	11	7.9 ~ 3.5
御前崎市	21.0	19	13	8.2 ~ 3.9
掛川市	13.7	14	11	6.7 ~ 4.1
袋井市	11.4	10	10	5.3 ~ 3.6
磐田市	11.8	12	10	5.1 ~ 2.5
浜松市南区	14.8	16	14	5.1 ~ 3.4
浜松市西区	14.3	14	4	5.6 ~ 1.5
湖西市	17.7	16	6	5.6 ~ 1.7

<参考> 3月31日(50mメッシュ)公表時に津波高が話題になった市町の状況 (単位:m)

市(区)町名	3月31日	8月29日	10mメッシュ(8/29)の最高津波高の位置
下田市	25.3	33	下田湾外狼煙(のろし)崎付近(下田港内は12~15m程度)
南伊豆町	25.3	26	入間富戸ノ浜付近(弓ヶ浜海水浴場は12~13m程度)
松崎町	20.7	16	雲見地区の南西側の海岸(集落外) (松崎海水浴場は13~15m程度)
沼津市	13.2	10	西浦古宇(こう)の付近(内浦重須は9m程度)
静岡市清水区	10.9	11	久能海岸沿いの増(ぞう)付近(清水港内は3~4m程度)
御前崎市	21.0	19	浜岡原子力発電所の周辺
浜松市南区	14.8	16	中田島砂丘の付近

4 浸水域(10mメッシュ単位)

津波高の推計に用いられた11のケース毎の浸水域が示された。

県内の浸水面積が一番広くなるケースでの各市町の浸水域(浸水深1cm以上)の面積は、下表のとおりである。(単位:k㎡)

市(区)町名	南海トラフ 巨大地震 8月29日 発表予定	(参考) 静岡県 第3次地震 被害想定	市(区)町名	南海トラフ 巨大地震 8月29日 発表予定	(参考) 静岡県 第3次地震 被害想定
熱海市	0.3	0.12	焼津市	11.1	4.07
伊東市	0.5	0.14	吉田町	6.0	0.48
東伊豆町	0.7	0.16	牧之原市	10.4	1.54
河津町	0.7	0.06	御前崎市	9.7	3.10
下田市	4.7	0.74	掛川市	5.3	0.87
南伊豆町	3.2	0.88	袋井市	1.7	0.24
松崎町	1.8	0.84	磐田市	14.0	1.45
西伊豆町	2.5	0.43	浜松市中区	3.2	9.54
伊豆市	1.2	0.48	浜松市南区	21.7	
沼津市	6.2	2.89	浜松市西区	18.6	
富士市	2.6	1.31	浜松市北区	0.6	
静岡市清水区	12.3	4.07	湖西市	8.0	4.19
静岡市駿河区	3.5	0.26	計	150.5	37.85

※第3次想定は、堤防、水門等の施設が機能した場合の数字である。

5 人的・物的被害の概数

地震動のパターンと津波のケースにより、東海地方、近畿地方、四国地方、九州地方のそれぞれの地方が大きく被災するケースの被害想定が示された。

なお、それぞれのケースについて、季節・時間帯（冬・深夜、夏・昼、冬・夕）、風速（平均風速、風速8m/秒）、津波早期避難率の高低の変動による被害の違いが示されている。

東海地方が大きく被災するケースのうち、本県の被害が最大になるケースの人的被害・物的被害の概数は、下表のとおりである。

(1) 物的被害（全壊数）〔冬18時、風速8m/秒〕

区分	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	計
都府県計	627,000 棟	115,000 棟	173,000 棟 (157,000 棟)	4,600 棟	310,000 棟	1,230,000 棟 (1,214,000 棟)
静岡県	208,000 棟	4,900 棟	31,100 棟 (30,000 棟)	600 棟	75,000 棟	320,100 棟 (319,000 棟)

※ 上段は、堤防・水門の一部が機能しなかった場合

下段()内は、堤防・水門が機能した場合 …… (2) についても同様

区分	地震動・液状化	人工造成地	津波	山崖崩れ	火災	計
第3次想定 (冬18時予知なし)	131,183 棟	4,774 棟	2,240 棟	3,546 棟	58,402 棟	192,450 棟

※ 物的被害の計は被害要因間の重複を除外した値であり、合算値と合わない。

※ 第3次想定は、堤防、水門等の施設が機能した場合の数字である。

(2) 人的被害（死者数）〔冬深夜、風速8m/秒、早期避難率低〕

区分	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊	火災	計
		屋内*				
都府県計	82,000 人	6,200 人	253,000 人 (230,000 人)	600 人	10,000 人	346,000 人 (323,000 人)
静岡県	13,000 人	1,200 人	100,300 人 (95,000 人)	40 人	1,600 人	114,300 人 (109,000 人)

※ 屋内：屋内収容物移動・転倒、屋内落下物

区分	建物倒壊	その他	津波	山崖崩れ	火災	計
第3次想定 (冬5時予知なし)	4,646 人	306 人	227 人	555 人	117 人	5,851 人

※ その他：屋内収容物移動・転倒、屋内落下物、ブロック塀・石塀の倒壊、道路上への落石・崩土

※ 第3次想定は、堤防、水門等の施設が機能した場合の数字である。

6 対応

- ・今後、国が計算に用いた震源モデル、津波波源モデル、地盤データ等の提供を受け、国の計算結果と整合を図りながら、第4次地震被害想定策定作業を進めていく。